



## 第47期 中間報告書

自 平成26年2月1日 至 平成26年7月31日

Shape your future

高品質のITで顧客の事業発展に貢献する

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、心より厚く御礼申しあげます。

さて、このたび、第47期第2四半期連結累計期間（平成26年2月1日から平成26年7月31日まで）の決算が確定いたしましたので、ここにご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費増税に伴う駆け込み需要とその反動減がみられたものの、政府の各種政策を背景に企業収益、雇用情勢の改善が継続し、緩やかな回復基調で推移いたしました。

情報サービス産業においては、景気回復を背景に企業のIT投資マインドに改善がみられました。とりわけ、市場ニーズは売上拡大や競争優位性の確保につながる経営戦略面の課題に対して高まっており、さらなる顧客目線でのシステム提案・サービス提供が求められております。

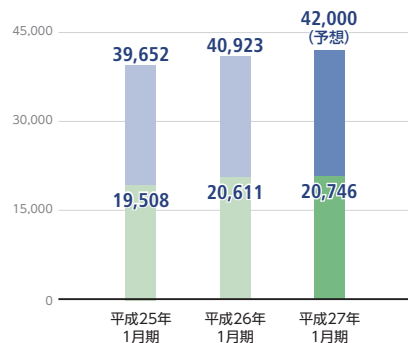
このような情勢のなか、当社グループは自社独自の製品・サービス創出による事業領域の拡大、アライアンス推進による営業力・市場競争力の強化、各事業セグメント間の連携強化によるシナジー効果の最大化に努めるとともに、新規顧客の開拓および既存顧客の深耕に注力してまいりました。

## 連結財務ハイライト

■ 第2四半期累計 ■ 通期

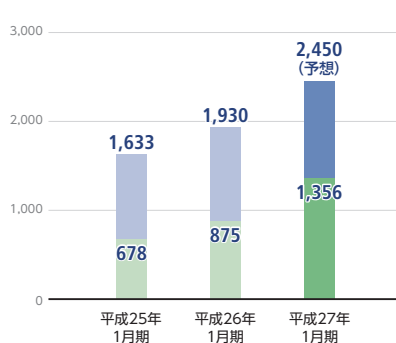
### 売上高

(百万円)



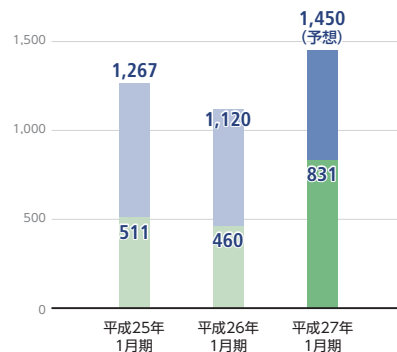
### 経常利益

(百万円)



### 四半期(当期)純利益

(百万円)



その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、携帯デバイス検証の商談減少や前期の大口仕入販売の反動減等がみられたものの、各種施策に取り組んだことで、売上高は207億4千6百万円、前年同期比1億3千5百万円(0.7%)の増となりました。利益面については、付加価値の高い自社開発製品の販売ならびに生産性向上等の収益改善活動を推し進めたことで粗利率が改善し、営業利益は13億8千6百万円、前年同期比4億9千万円(54.7%)の増、経常利益は13億5千6百万円、前年同期比4億8千万円(54.8%)の増、四半期純利益は8億3千1百万円、前年同期比3億7千1百万円(80.7%)の増となりました。

なお、中間配当金につきましては、株主の皆様への安定的な配当の継続を考慮いたしまして、1株につき10円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご支援・ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



代表取締役会長

岩崎 宏達



代表取締役社長

田原 富士夫

## 事業の概況

### 品質検証サービス

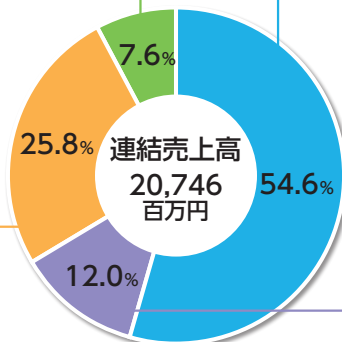
第三者の視座・視点に立った、検証、認証、評価等の品質マネジメントに関連するサービス

売上高 1,586百万円 (前年同期比 12.4%減)  
営業利益 232百万円 (前年同期比 109.4%増)

### IT基盤サービス

IT基盤の構築、運用、保守等のITライフサイクルマネジメントに関連するサービス

売上高 5,353百万円 (前年同期比 0.6%減)  
営業利益 780百万円 (前年同期比 10.9%増)



### システム構築サービス

金融業・自動車産業・製造業・情報通信サービス分野・ヘルスケア分野を中心に、高品質なIT技術とノウハウを核としたソフトウェア開発サービス

売上高 11,322百万円 (前年同期比 3.2%増)  
営業利益 1,886百万円 (前年同期比 21.6%増)

### ビジネス支援サービス

ICカード認証印刷、生産物流の最適化支援、ロボット動作・配置最適化支援等、自社独自の製品・サービスを核に顧客ビジネスの成長を支援するサービス

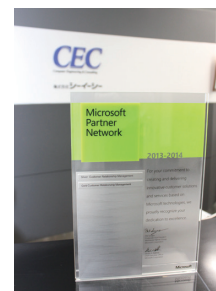
売上高 2,483百万円 (前年同期比 1.6%増)  
営業利益 160百万円 (前年同期比 249.7%増)

## 第47期（上半期）ビジネスハイライト

- 2月**
  - イベント** ソフトウェア品質生産性向上セミナー開催
  - 新サービス** 大分シーイーシー 太陽光発電事業を本格スタート
- 3月**
  - IR** 平成26年1月期 決算発表
  - 新サービス** イーセクター 大容量ファイル転送サービス「ギガ転」の提供開始
- 4月**
  - イベント** 宮崎太陽農園 九州経済連合会開催の「農業の将来像を探るパネルディスカッション」にパネリストとして参加
  - IR** 第46回定時株主総会開催
  - 新サービス** イーセクター クラウドを安全・簡単に活用する認証サービス「SGCloudX」の提供開始
  - CSR** 座間市さがみ野ラボ周辺の清掃活動を実施
- 5月**
  - CSR** 座間市東原小学校に小学生新聞1年分を寄贈
  - イベント** 組込みシステム開発技術展にテスト自動化ソリューションを出展
  - 表彰** イーセクター HULFT Awardにて「ベストサポートパートナー賞」を受賞
- 6月**
  - IR** 平成27年1月期 第1四半期決算発表
  - イベント** 東京大学駒場リサーチキャンパスの一般公開イベントにて音声による家電制御アプリを出展
  - 認定** 日本マイクロソフト社からDynamics CRMのゴールドパートナーに認定
  - イベント** 「Cloud Community 2014」に簡単快速クラウドBizVision PLUS Publicなどを出展
  - 新サービス** AWS（アマゾンウェブサービス）上にTrend Micro Deep Securityをバンドルしたクラウドサービスを提供開始
  - イベント** 設計・製造ソリューション展にて製造の現場を支援する各種サービスを出展
- 7月**
  - 新サービス** SmartSESAME SecurePrint！官公庁・自治体向け特集サイトをオープン

### Dynamics CRMの技術力と実績で 日本マイクロソフト社のGold Partnerに認定

平成26年6月、シーイーシーはCRMの分野で、日本マイクロソフト株式会社のゴールドパートナーに認定されました。これはMicrosoft Dynamics CRMに高い専門知識や実績をもつパートナーに与えられる称号で、ソリューション数や導入事例、製品の技術認定資格者数、顧客満足度調査等の基準を満たすことが条件となります。



### 設計・製造ソリューション展にて 製造の現場を支援する各種サービスを出展

製造業向けのITソリューションが一堂に出展する「設計・製造ソリューション展」に、生産現場の業務を支援する各種ソリューションサービスを出展。IT化された製造現場の「CEC FACTORY」をコンセプトに、M2Mの遠隔監視システム「Facteye（ファクティエ）」やロボットティーチングの「Virfit（バーフィット）」&「RoboDiA（ロボディア）」などを展示しました。



※M2M（マシーン・ツー・マシーン）：人が介在せずに機器同士がコミュニケーションをして動作するシステム

## Topic 1 ワークスタイルの変革を提案 「SmartSESAME Style」オープン！

ICカードを利用してセキュリティ認証システムを提供してきた「SmartSESAME」が、このほどサービス内容を拡充いたしました。新たに打ち出したコンセプト「SmartSESAME Style（スマートセサミスタイル）」では、ワークスタイルの変革を支援するIT基盤の提供を目的として、これまで培ってきたメーカーや機種に縛られないオープンプラットフォーム技術や認証セキュリティ技術を活かし、パートナー企業との連携を図ることで、ビジネスをより効率的にこなせるIT環境を提案します。SmartSESAME Styleが提供する基盤上で、アプリケーション、プリンターなどのオフィスツールとパソコンやスマートフォンなどのデバイスが自由に連携し、ビジネスマンのオフィスワークをより快適なものへと変革してくれます。



◀ SmartSESAME Style公式サイト

<http://sesame.cec-ltd.co.jp/style/>

## Topic 2 生産性向上設備投資促進税制の 対象ソフトウェアに認定

平成26年度税制改正大綱において、「産業競争力強化法」に係る支援措置として生産性向上設備投資促進税制の創設が盛り込まれま



した。本税制では、経済産業省の認めたソフトウェアも、先端設備として設備投資減税の対象資産となっています。シーイーシーが開発、提供しているRaLC（ラルク）、RaAP（ラープ）、Facteye（ファクティエ）、Virfit（バーフィット）の4つのソフトウェアも、今年5月に減税対象の先端設備（ソフトウェア）に認定されました。

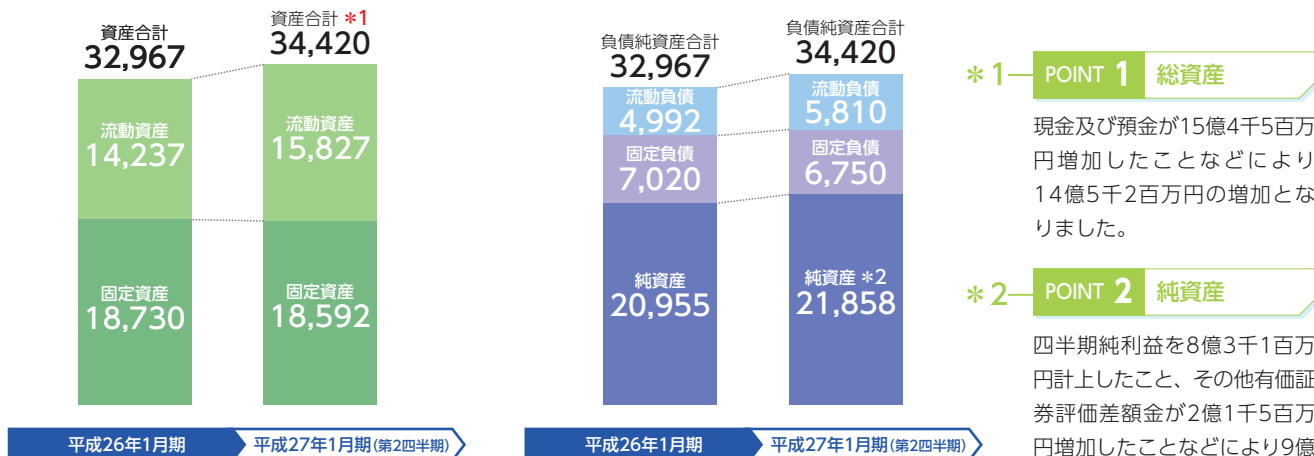
- RaLC : 物流業務最適化支援ツール
- RaAP : 生産ライン業務最適化支援ツール
- Facteye : 設備の稼働監視・稼働実績管理システム
- Virfit : ロボット・各種装置の動作確認・検証ツール

## Topic 3 大分シーイーシー、太陽光発電事業が本格稼働

大分シーイーシーでは、平成25年から「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」を活用した太陽光発電事業に取り組み、今年度本格的に発電設備の稼働を開始しました。敷地内に設置された約1,000個の太陽電池モジュール（ソーラーパネル）が、最大で200kw（パネル出力240kw）／月相当のクリーンな電気を発電しています。また、専任の担当者を置き発電状況の管理・監視を行うだけでなく、今後は本施設を活用した実証実験など他社との連携ビジネスも検討してまいります。



第2四半期連結貸借対照表の概要 (百万円)



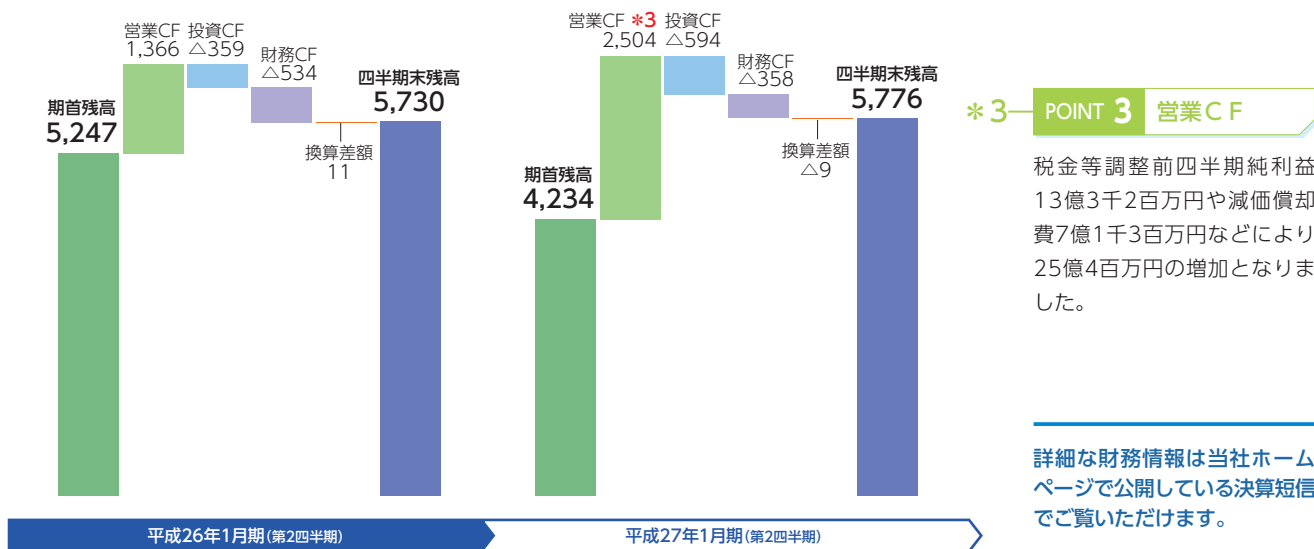
\*1 POINT 1 総資産

現金及び預金が15億4千5百万円増加したことなどにより14億5千2百万円の増加となりました。

\*2 POINT 2 純資産

四半期純利益を8億3千1百万円計上したこと、その他有価証券評価差額金が2億1千5百万円増加したことなどにより9億2百万円の増加となりました。

第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (百万円)



\*3 POINT 3 営業CF

税金等調整前四半期純利益13億3千2百万円や減価償却費7億1千3百万円などにより25億4百万円の増加となりました。

詳細な財務情報は当社ホームページで公開している決算短信でご覧いただけます。



## 会社の概要

(平成26年7月31日現在)

商号 株式会社 **シーイーシー**  
Computer Engineering & Consulting, Ltd.

設立 昭和43年2月24日

資本金 65億8千6百万円

従業員数 2,366名(連結) / 1,638名(単体)

### 主なグループ会社

社名	資本金(百万円)	出資比率(%)	事業内容
<b>連結対象子会社</b>			
フォーサイトシステム株式会社	250	83.2	ソフトウェア開発
シーイーシークロスメディア株式会社	200	50.0	メディアミックスコンテンツ事業
株式会社イーセクター	100	100.0	パッケージ販売
株式会社シーイーシーカスタマサービス	50	100.0	ITサービス事業
大分シーイーシー株式会社	30	100.0	ソフトウェア開発
株式会社コムスタッフ	15	100.0	人材派遣業
株式会社宮崎太陽農園	10	49.0	ITを活用した農畜産物の生産・販売
シーイーシー(杭州)科技有限公司	120	91.7	ソフトウェア開発
<b>持分法適用会社</b>			
コニカミノルタビズコム株式会社	300	34.0	情報機器に関連したITソリューションサービス

## 役員および執行役員

### 役員

代表取締役会長	岩崎 宏達
代表取締役社長	田原 富士夫
常務取締役(常務執行役員)	橋村 清海
常務取締役(常務執行役員)	長田 一裕
常務取締役(常務執行役員)	千葉 信和
取締役(執行役員)	小田 恭裕
取締役(執行役員)	河野 十四郎
常勤監査役	藤原 学
監査役	長濱 毅
監査役	中山 眞

### 執行役員

執行役員	服部 豊
執行役員	立石 博
執行役員	廣田 雅博
執行役員	松本 一晃
執行役員	江上 太
執行役員	姫野 貴
執行役員	阿部 誠

## 株式の状況

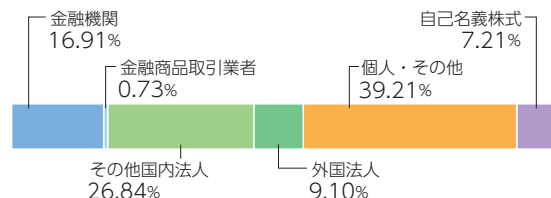
(平成26年7月31日現在)

発行可能株式総数 40,000,000株

発行済株式総数 18,800,000株

株主数 4,282名

### 所有者別株式分布状況



### 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
1 ミツイワ株式会社	2,223,600	12.75
2 富士通株式会社	1,680,000	9.63
3 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,267,900	7.27
4 シーイーシー従業員持株会	1,051,800	6.03
5 岩崎宏達	563,200	3.22
6 日本フォーサイト電子株式会社	465,480	2.66
7 MELLON BANK TREATY CLIENTS OMNIBUS	292,800	1.67
8 CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	239,900	1.37
9 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	217,700	1.24
10 株式会社三菱東京UFJ銀行	202,000	1.15

(注) 持株比率は、自己株式(1,356,250株)を控除して計算しております。



# 当社ホームページのご案内

当社ホームページでは投資家の皆様のお役に立つさまざまな情報を公開しており、IR情報のページから「電子書籍版 株主通信」をご覧いただけます。

シーイーシーホームページ  
<http://www.cec-ltd.co.jp/>



IR情報  
<http://www.cec-ltd.co.jp/ir/>



「電子書籍版 株主通信」  
閲覧の手順



- 1 シーイーシーのホームページにアクセスします。
- 2 トップページからのグローバルメニューから「IR情報」をタップします。
- 3 サイドメニューに表示された「報告書」をタップします。
- 4 報告書の画面が表示されたら、「株主通信vol.3」をタップしてダウンロードします。
- 5 画面に表示された「iBooks」で開くをタップすると、株主通信が表示されます。

QRコードからの  
アクセスはこちら



※閲覧可能な端末は、アップル社のタブレット端末「iPad」または「iPhone」となります。上記の手順にてダウンロード後、アプリケーション「iBooks」にてご覧ください。

※ファイル容量が大きいため、WiFi環境でのダウンロードを推奨いたします。

## 株主メモ

事業年度 2月1日～翌年1月31日

期末配当金  
受領株主確定日 1月31日

中間配当金  
受領株主確定日 7月31日

定時株主総会 毎年4月

株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社

同連絡先 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
TEL 0120-782-031 (通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部 (証券コード9692)

公告方法 電子公告 公告掲載URL <http://www.cec-ltd.co.jp/>  
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三井住友信託銀行）ではお取扱いできませんのでご注意ください。
2. 未受領の配当金につきましては、三井住友信託銀行本店でお支払いいたします。



〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南一丁目5番5号 JR恵比寿ビル  
TEL.03-5789-2441 (代表)

記載の会社名および商品名等は、一般に各社の商標、または登録商標です。



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォントを  
採用しています。

